



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
〈No.14〉平成29年3月24日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

「おかげさまで」

校長 富田 聡

暖かな日差しが差し込む日々もあり、ようやく春の到来を肌で感じる季節となりました。学校行事の中でも大切な「卒業式」を終えることができ、おかげさまで本校の平成28年度が、何とか大きな事故も無く終わろうとしています。様々な学習活動や諸行事を無事に終了することができたのも、保護者や地域の皆様のおかげと感謝しています。

「おかげさまで」

夏がくると冬がいいという、冬になると夏がいいという
太ると痩せたいという、痩せると太りたいという
忙しいと閑(ひま)になりたいという、閑になると忙しいほうがいいという
自分に都合のいい人は善い人だと誉め、自分に都合が悪くなると悪い人だと貶(けな)す
借りた傘も雨があがれば邪魔になる
金をもてば古びた女房が邪魔になる、世帯をもてば親さえも邪魔になる
衣食住は昔に比べりゃ天国だが、
上を見て不平不満に明け暮れ、隣を見ては愚痴(ぐち)ばかり
どうして自分を見つめないか、静かに考えてみるがいい
いったい自分とは何なのか
親のおかげ、先生のおかげ、世間様のおかげの塊(かたまり)が自分ではないのか
つまらぬ自我妄執を捨てて、得手勝手を慎んだら世の中はきっと明るくなるだろう
おれがおれがを捨てて、おかげさまでおかげさまでと暮らしたい

上記のものは、野球解説者「野村克也」氏の著書で、私の愛読書の一つでもある「野村ノート」の冒頭で紹介している言葉です。本では、ある社会活動家の言葉と紹介されていました。私は、これを自分の戒めとしています。それは、今まで多くの人に支えられてきている「感謝の心」を忘れてはならないと思っているからです。今日まで来られたのは、優しい生徒や、協力的な保護者、温かな地域の皆様のおかげだと思っています。本当に、心から感謝しています。「ありがとうございました。」